

# 水素エネルギーの 取組を世界に発信



ランカスター市内 太陽光パネル



アメリカ国内企業の取組を説明



ハワイ郡 ミッチ・ロス郡長 (左)  
ランカスター市 レイモンド・レックス・パリス市長 (中央)  
浪江町 吉田栄光町長 (右)  
ベルデ・エクスチェンジ会議にて、三都市記念撮影



ロサンゼルス郡スーパーバイザーから表彰



ベルデ・エクスチェンジ会議に登壇

## 水素利活用の国際連携強化のためアメリカ合衆国 ロサンゼルス市・ランカスター市を訪問

環境関連国際会議（ベルデ・エクスチェンジ会議）では、吉田栄光町長が登壇した。

ロサンゼルス市と、三都市の新たな取組を進める連携組織を設立するための覚書締結にランカスター市を訪問しました。

浪江町は世界初の水素による連携都市として、※1ランカスター市と2021年に協定を締結しました。ランカスター市と浪江町ではお互いの再生可能エネルギーや水素の利活用に関わる知見を共有するなど交流を深めていました。

### 世界に先駆けた 水素利活用の国際連携

2022年秋、浪江町とランカスター市、そして水素の利活用に関心が高まる※2ハワイ郡が加わり、水素利活用の取組を世界に先駆けて行う自治体間連携事業がアメリカ合衆国エネルギー省事業に採択されました。環境関連国際会議（ベルデ・エクスチェンジ会議）への参加のためロサンゼルス市と、三都市の新たな取組を進める連携組織を設立するための覚書締結にランカスター市を訪問しました。

次世代のエネルギーである水素による連携を国際的に強化することにより、浪江町の水素タウン構想や、まちづくりがより良いものになるよう今後とも取り組んでいきます。

※1 ランカスター市  
アメリカ合衆国カリフォルニア州南部ロサンゼルス郡の都市  
※2 ハワイ郡  
アメリカ合衆国ハワイ州の郡



連携組織を設立するための覚書締結



ロサンゼルス日本総領事公邸  
レセプションにてスピーチ



ランカスター市役所 覚書締結式会場



ジャパシ・ハウスを視察



約200人の参加者に向けて水素の取組をスピーチ



しらすや地酒を楽しむ参加者たち



アメリカ国内企業の取組を説明



ブース来訪後の町へのイメージ変化を調査



アメリカ国内企業の実証施設を視察

## 水素利活用による連携都市、ランカスター市に訪問

ランカスター市に到着後は、水素の利活用に向けた再生可能エネルギー関連企業の視察（太陽熱を利用した水素製造研究施設、大型蓄電池施設、水素関連事業を行っている地元企業との意見交換を行いました。水素社会の実現に向け、浪江町・ランカスター市・ハワイ郡が連携して世界に先駆けた水素利活用取組を行う組織を設立することへの覚書を締結しました。

今後、二都市とさらなる連携を深め、世界をリードし、持続可能な水素社会を実現していききたいと考えています。



ランカスター市での視察



ランカスター市のマスコットキャラクター ポビーくん



三都市の長が初めて対面で集まり議論



## ロサンゼルス市にて浪江町の産品をPR

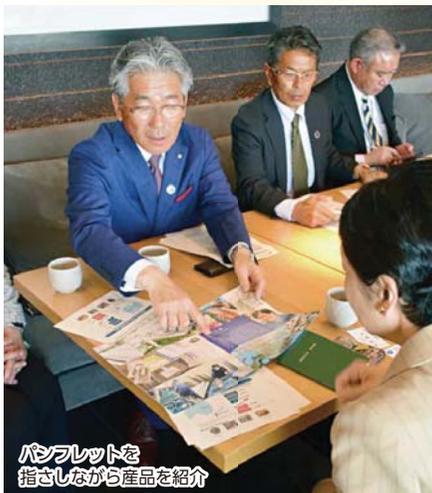
ロサンゼルス日本総領事公邸で会議参加者向けのレセプションが開催され、吉田栄光町長によるスピーチや、風評払拭に向けた特産品のPRを行いました。

吉田栄光町長はスピーチで「必ず水素の取組を成功させ、震災の時にご支援いただいたアメリカそして世界の皆さんのご恩に応えたい」と述べました。

浪江町ブースでは、地酒「磐城壽」や請戸漁港で水揚げされた「しらす」のふるまひ、大堀相馬焼の展示などを行いました。参加者からは、おいしいと喜ばれ、浪江町の魅力や安全性を知っていただきました。

ロサンゼルス市内にある日本文化の発信拠点である「ジャパン・ハウス」を訪れ、海部優子館長らに、東日本大震災および原発事故による新たな取組などを説明し、町の特産品を紹介するとともに、風評の払拭や販路拡大について意見交換を行いました。

今後、同施設での大堀相馬焼や地酒などの特産品を展示・紹介するため、県や日本貿易振興機構などと連携し、取組を進めていく予定です。これにより、風評払拭や米国人ファンの獲得が期待されます。



パンフレットを指さしながら産品を紹介



水素利活用連携組織「パシフィック・ハイドロジェン・アライアンス」の覚書締結式



海部優子館長らとの意見交換

動画でチェック

ランカスター市訪問の様子などを動画で紹介しています。